

IV-8 沖縄

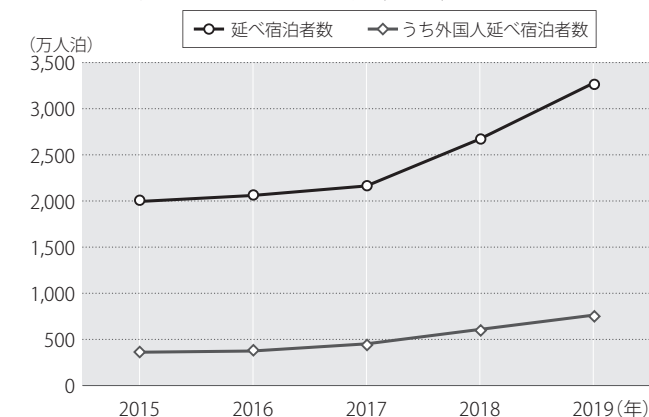
入域観光客数は1016.4万人(暦年)で初の1,000万人台を記録
 /1人あたり観光消費額は横ばいで推移

(1) 都道府県レベルの旅行者動向

観光庁「宿泊旅行統計調査」によると2019年1月～12月の沖縄の延べ宿泊者数は3,287万人泊となり、前年比22.7%増(607万人泊増)となった(図IV-8-1)。

一方、外国人延べ宿泊者数は775万人泊となり、前年比25.0%増(155万人泊増)で、2018年に引き続き延べ宿泊者数・外国人延べ宿泊者数ともに二桁の増加率となった。

図IV-8-1 延べ宿泊者数の推移(沖縄)



延べ宿泊者数	2015	2016	2017	2018	2019(年)
延べ宿泊者数	2,006	2,063	2,169	2,679	3,287
うち外国人延べ宿泊者数	368	386	462	620	775

単位：万人泊
 資料：観光庁「令和元年宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

沖縄県が推計している「入域観光客数(含ビジネス客)」は、2019年(暦年)で1,016万4千人となり、前年比3.2%増(31.6万人増)と7年連続で過去最高を更新、暦年で初の1,000万人台を記録した。ただし増加率は、2014年から2016年にかけて3年連続で前年比10%以上の伸びを示したものの、2017年以降は3年連続で一桁の増加率に留まっている(図IV-8-2)。

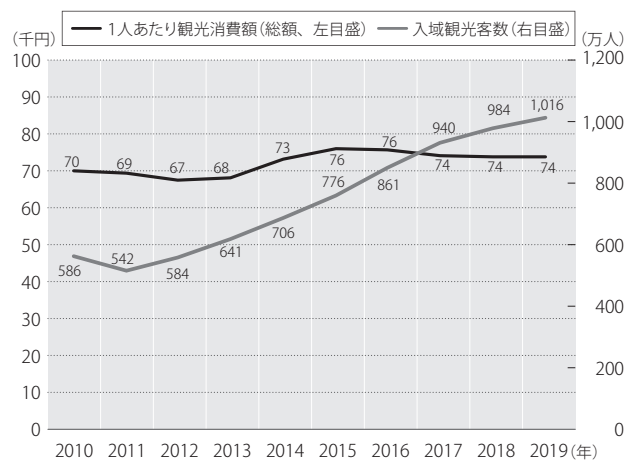
入域観光客数のうち、国内客は723万4千人(前年比4.2%増)、外国人客は293万0千人(同0.9%増)だった(図IV-8-3)。近年、外国人客比率は拡大傾向にあったが、2018年が29.5%であったのに対して2019年は28.8%に留まった。また、2012年以降、前年比二桁の伸びを示してきた外国人客数であるが、2019年の増加率は0.9%となっている。国籍別にみると、台湾94万0千人(前年比5.6%増)、中国75万4千人(同19.3%増)、韓国38万1千人(同31.5%減)、香港25万7千人(同5.9%増)、その他59万9千人(同2.59%増)で、韓国人観光客の減少が外国人客全体の伸び悩みに大きく影響を与えた。

観光客1人あたり圏内消費額は、73,632円となり、前年比

0.1%減(同59円減)となった。

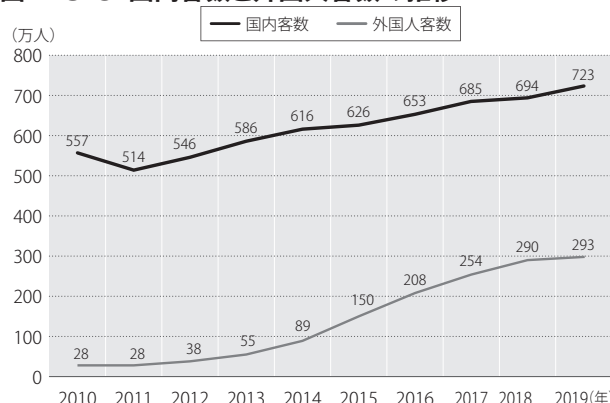
離島の動向をみると、沖縄県八重山事務所が公表している八重山地域の入域観光客数は、2019年(暦年)が148万2千人(前年比7.4%増)で2018年の減少傾向から再び増加。一方、宮古島市が公表している宮古島の観光客数は113万9千人となり、前年比2.3%増と八重山観光が好調な年となった(図IV-8-4)。

図IV-8-2 入域観光客数と1人あたり観光消費額の推移



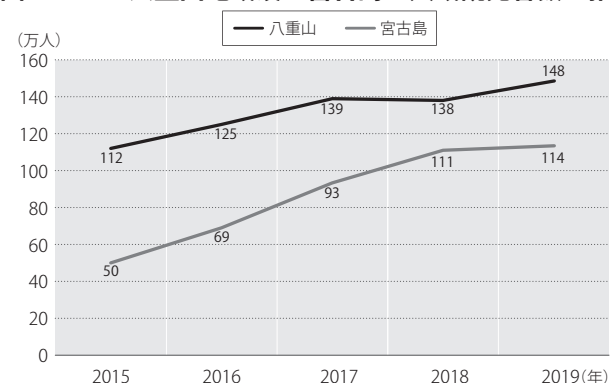
資料：沖縄県「観光統計実態調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図IV-8-3 国内客数と外国人客数の推移



資料：「沖縄県入域観光客統計概況」をもとに(公財)日本交通公社作成

図IV-8-4 八重山地域及び宮古島の入域観光客数の推移



資料：沖縄県「八重山入域観光客数統計概況(推計)」及び宮古島市「宮古の入域観光客数」をもとに(公財)日本交通公社作成

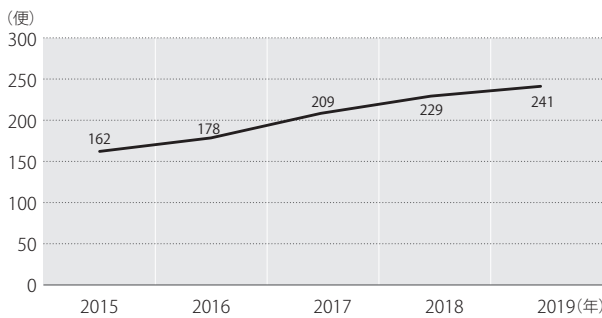
(2) 観光地の主要な動き

入域観光客数の拡大を受けて、2019年も国際線の増便、宿泊施設及び商業施設などのオープンが相次いでいる。

●国際線の増便

調査月が異なるため単純比較はできないものの、2019年6月1日現在的那覇空港及び新石垣空港の週あたりの便数は241便で、前年（2018年6月1日現在）に比べ5.2%増（12便増）となった（図IV-8-5）。主な内訳は、台北65便（石垣便を含む）、ソウル56便、香港33便（石垣便を含む）、上海21便、高雄18便、釜山10便などとなっている。

図IV-8-5 那覇空港及び新石垣空港（南ぬ島石垣空港）における国際線（直行便）の便数（週あたり）の推移



資料：沖縄県「観光要覧」をもとに（公財）日本交通公社作成

※ 2015年は9/1、2016年は8/1、2017年以降は6/1現在の便数を掲載。

※ 提供座席数は主な使用機材より独自に推計したもの。使用機材の変更等により実際の提供座席数とは異なる可能性がある。

●宿泊施設の開業

2019年～2020年にかけてオープンした主な宿泊施設（名称変更などによるリニューアルオープンを含む）を表IV-8-1に示す。

外国人観光客をはじめ、観光客数の伸びはやや鈍化したものの、引き続き那覇市内、那覇市以外の沖縄本島、そして離島を含めて多くの宿泊施設が開業している。那覇市内では、「グリーンリッチホテル那覇」（2019年3月）、「ホテルランタナ那覇国際通り」（同年4月）、「東急ステイ沖縄那覇」（2020年2月）、「ホテルコレクティブ」（同年4月）、「ホテルストレータ那覇」（同年4月）と150室以上の比較的大型のホテルの新規開業が相次いだ。また、昨年までに引き続き、「グランドキャビンホテル那覇小禄」（2019年2月）、「CABIN & HOTEL ReTIME」（同年10月）など、カプセルホテルの開業も多くみられた。

一方、那覇市以外の沖縄本島では、360室の「ハレクラニ沖縄」（2019年7月）が、同ホテル2つ目、ハワイ以外では初のホテルとして開業している。その他、本島北部に「グリーンリッチホテル沖縄名護」（2020年1月）、「ヒルトン沖縄瀬底リゾート」（同年7月）、宮古島に「ホテルシギラミラージュ『ベイサイド』」（2019年4月）などの大型ホテルが開業した。

表IV-8-1 2019年から2020年にかけてオープンした主な宿泊施設

年月	宿泊施設名	所在地	室数
2019年2月	グランドキャビンホテル那覇小禄	那覇市	150キャビン
2月	クリアスホテル壺川マルシェ	那覇市	41室
3月	グリーンリッチホテル那覇	那覇市	165室
4月	RuGu（ル・ゲー）	宮古島市	16棟
4月	アラマハイナコンドホテル	本部町	100室
4月	ホテルシギラミラージュ「ベイサイド」	宮古島市	120室
4月	ホテルWBF MARCHÉ（マルシェ）石垣島	石垣市	55室
4月	ホテルランタナ那覇国際通り	那覇市	162室
5月	the rescape	宮古島市	41室
5月	U-MUI Forest Villa Okinawa YAMADA GUSUKU	恩納村	18室
5月	Wayn-Zen恩納荘園（ウェイゼンおんなしょうえん）（リニューアル）	恩納村	27室
6月	ビーチリゾートホテルカラカウア	恩納村	22室+9棟+10台
7月	GLAMDAY STYLE HOTEL&RESORT OKINAWA YOMITAN	読谷村	54室
7月	ハレクラニ沖縄	恩納村	360室
7月	フサキビーチリゾートホテル&ヴィラズ「ノースウィング」	石垣市	150室
7月	ホテルシギラミラージュ「ヒルサイド」	宮古島市	40室
7月	グランディスタイル 沖縄 読谷 ホテル&リゾート	読谷村	54室
7月	ロワジールリビングスイーツ 瀬良垣	恩納村	105室
7月	マレアリゾート本部	本部町	18室
9月	Okinawa EXES Naha	那覇市	67室
9月	ホテル沖縄 with サンリオキャラクターズ	那覇市	66室
10月	CABIN & HOTEL ReTIME（キャビンアンドホテルリタイム）	那覇市	130室
10月	ホテル・トリフィート那覇旭橋	那覇市	136室
10月	星野リゾート 西表島ホテル（リニューアル）	竹富町	138室
10月	カリコンド美ら海	本部町	25室
12月	アンサ沖縄リゾート	うるま市	123室
2020年1月	グリーンリッチホテル沖縄名護	名護市	155室
2月	ホテルアンテルーム那覇	那覇市	126室
2月	かりゆしコンドミニウムリゾート宮古島 ぶくぎステイズ	宮古島市	18室
2月	東急ステイ沖縄那覇	那覇市	199室
3月	レクー沖縄北谷スパ&リゾート	北谷町	229室
4月	ホテルコレクティブ	那覇市	260室
4月	ホテルストレータ 那覇	那覇市	221室
6月	ルネッサンスリゾートオキナワ（リニューアル）	恩納村	377室
6月	Lalamare 古宇利	今帰仁村	16室
7月	星野リゾート リゾナーレ小浜島（リニューアル）	竹富町	60室
7月	星のや沖縄	読谷村	100室
7月	THIRD石垣島	石垣市	28室
7月	コンフォートホテル石垣島	石垣市	81室
7月	KARIYUSHI LCH. RESORT on The Beach	名護市	117室
7月	ヒルトン沖縄瀬底リゾート	本部町	298室

資料：新聞記事やホームページなどをもとに（公財）日本交通公社作成

●観光関連施設の開業

2018年～2019年にかけてオープンした主な商業施設・アミューズメント施設などをはじめとした観光関連施設を表IV-8-2に示す。

2019年3月、外国人でも楽しめる言葉や台詞を使わない音楽エンターテインメントショーを行う劇場「Comic Dojo TEE! Family」が那覇市・国際通り沿いの商業施設内にオープンした。ただ、雨天時にも楽しめる屋内型施設として期待されたものの、同年11月末日をもって閉館している。

一方、2020年5月には、4月の開業予定から新型コロナの影響を受けて1か月ほど遅れて、「DMMかりゆし水族館」が本島南部・豊見城市に開業している。広さや魚種数では、本島北部・本部町の美ら海水族館に劣るものの、新しいカタチのエンターテインメント水族館を標榜し、最新の映像技術と実際の水槽展示を組み合わせたユニークな施設となっている。

表IV-8-2 2019年～2020年にかけてオープンした主な観光関連施設・アミューズメント施設

年月	施設名	所在地	概要
2019年1月	デザイナーズチャペル「白の教会」(リニューアル)	本部町	ホテルオリオンモトリゾート&スパに併設されたデザイナーズチャペル。幸せの木“ふくぎ”をモチーフにデザインされた。
1月	湊の教会/葵の教会	宮古島市	宮古島・シガラリゾートに同時オープンした教会。シガラビーチが目の前に広がる絶景が魅力となっている。
3月	オキナワハナサキマルシェ	本部町	本部町・アラマハイナ コンドホテルに併設された複合商業施設。レストラン、カフェ、フードコートなどが出店。
3月	「Comic Dojo TEE! Family」常設劇場	那覇市	那覇市国際通りにオープンした、言葉や台詞を使わない、ダンスやアクロバット、音楽を取り入れたエンターテインメントショー専用の劇場。
6月	サンエー浦添西海岸 PARCO CITY	浦添市	浦添市に開業した大型商業施設。店舗面積約6万㎡、駐車場台数約4,000の建物に県内外から約250のテナントが入居。
10月	ブレスドパイ・ザ・シー (リニューアル)	名護市	オキナワマリ奥特リゾート&スパ内に併設された結婚式場。小高い丘から海を望むガラス張りのチャペルが特徴的。
10月	ナゴパインナップルパーク (リニューアル)	名護市	創業40周年を記念して施設をリニューアル。恐竜ロボット15体を設置した「ダイナソードアドベンチャー」などが新たにオープンした。
2020年2月	国際通りのれん街	那覇市	国際通り沿いの商業施設に開業した飲食店32店舗が集積した施設。国際通りの賑わいに合わせて、祭りをイメージしたデザインとしている。
5月	DMMかりゆし水族館	豊見城市	最新の映像表現と空間演出を駆使した新しいカタチのエンターテインメント水族館。4月開業予定が新型コロナの影響で5月へ延期された。
5月	イオンタウン読谷座喜味	読谷村	マックスバリュ座喜味店を核店舗に全8テナントが出店。地元客向けの商業施設。
6月	イーアス沖縄豊崎	豊見城市	本島南部・豊見城市にオープンした大型複合商業施設。店舗面積4.3万㎡、駐車場台数3,100の建物に県内外から155のテナントが入居。
7月	糸満市場いとま〜	糸満市	糸満市公設市場を建て替えた商業施設。鮮魚、精肉店など旧市場から移転した事業者に加え、雑貨店、飲食店など36店舗が入居。

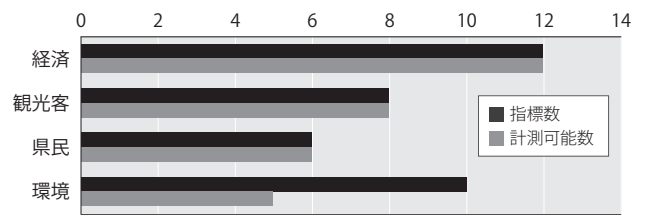
資料：新聞記事やホームページなどをもとに(公財)日本交通公社作成

(3) 沖縄観光成果指標の検証

沖縄県では2014年度から、観光政策の成果検証や沖縄観光の現状を把握するため、経済、観光客、県民、環境、マネジメントに係る40項目にわたる指標群「沖縄観光成果指標」を設定し、計測結果を毎年公表している。この取り組みは、観光地の持続可能性を計測・モニタリングする、いわゆる持続可能性指標を国内で初めて取り入れたもので、本項では5年が経過した同指標の現状について検証する。

持続可能性指標は、観光地の経済面や県民及び観光客の意識などの社会面、自然・文化資源などの環境面をバランスよく把握することが求められるが、沖縄県の場合は、行政、学識経験者及び業界関係者の協議・検討の結果、経済指標12項目、観光客指標8項目、県民指標6項目、環境指標10項目が定められている。ただし、2020年3月公表の沖縄観光成果指標では、経済、観光客、県民の各指標はいずれも計測が行われているものの、環境指標については設定10項目中、半分の5項目のみの計測となっている状況である(図IV-8-6)。計測ベースで見ると県民指標と環境指標の数がやや少なく、近年のオーバーツーリズムに関する報道が県内で多くみられていた状況を鑑みると、両指標を補強する必要性があるといえる。

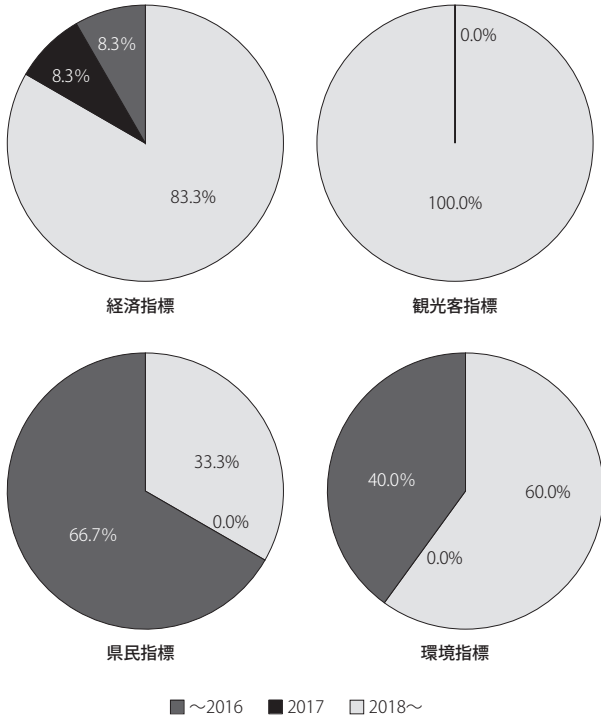
図IV-8-6 指標の設定項目と計測可能数



資料：沖縄県ホームページをもとに(公財)日本交通公社作成

次に、指標の最新データにおける計測年を分野ごとにみると、経済指標、観光客指標は8割以上が2018年以降のデータで構成されている一方で、県民指標の3分の2、環境指標の4割が2年以上古いデータで構成されている(図IV-8-7)。古いデータでは現状の観光地の状況を正しく把握できないため、古いデータの指標項目についてデータの取得・計測をこまめに行う、あるいはそれが難しい場合には指標項目の差し替えを行うことが望まれる。

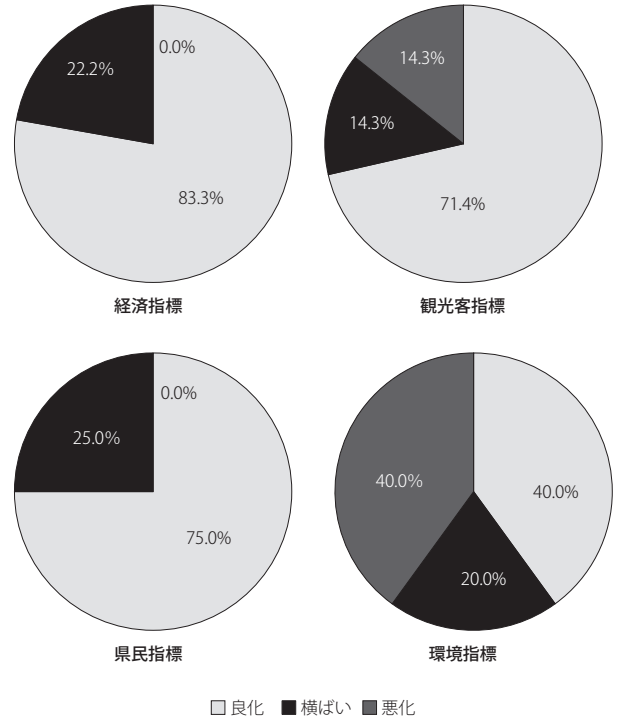
図IV-8-7 指標の最新データの計測年



資料：沖縄県ホームページをもとに（公財）日本交通公社作成

また、公表されている過去10年の変動を分野別にみると、経済指標、観光客指標、県民指標は7割以上が良化しており、概ね問題がないと推察されるが、環境指標については良化4割、横ばい2割、悪化4割と状況の改善に向けた対策を取ることが必要と考えられる（図IV-8-8）。ただし、本来は時系列でみた際の良化、悪化だけでなく、各指標の望ましい値に対して、達成しているか、あるいは達成に向けて良化

図IV-8-8 指標の計測値の変動（過去10年比較）



資料：沖縄県ホームページをもとに（公財）日本交通公社作成

しているかをみる必要があり、各指標の望ましい値が設定されていない沖縄観光成果指標では観光地の状況判断がし切れない面がある。指標運用開始から5年が経ち、新たな沖縄観光の10年後の姿を描く第6次沖縄県観光振興基本計画の策定のこのタイミングにおいて、指標項目の見直しと各項目の目標値の設定、測定結果の活用方法について改めて検討することが必要であろう。

（中島 泰）